

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年2月23日

中国運輸局

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|--------------------------|---|------------------------------------|-------------------|-------------------------|----------------------------------|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 広島電鉄(株) 湯来系統 | 五日市駅南口～杉並台 団地～湯来ロッジ前 | 五日市駅南口にバス停上屋を 設置済み | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | 各系統は、計画とおり適切に運行され ており、評価できる。 今後も引き続き路線維持確保のため、 利用実態に即した運行計画や、他系 統との接続を検討していただきたい。 なお、今後人口の減少とともにバス利 用者数の減少も想定されるところでは あるが、三段峡系統でこの度実施した PRなどは非常に良い取り組みであり、 このように観光客を取り込むことで利 用者を増やすなどの利用促進を講じる ことで少しでも利用者の増加に繋げる 取り組みを事業者および各自治体に 期待をする。 | |
| | 広島電鉄(株) 上栗栖系統 | 廿日市市役所前駅～上 栗栖 | H25.3.16ダイヤ改正を実施 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 三段峡系統 | 広島バスセンター～可 部・加計～三段峡 | H26.5月にバス車内の液晶パネ ルで三段峡PRを実施 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 三段峡系統 | 広島バスセンター～広島I C・戸河内IC～三段峡 | H26.5月にバス車内の液晶パネ ルで三段峡PRを実施 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 琴谷系統 | 広島バスセンター～安佐 営業所～琴谷車庫 | 学校再編に伴い、H25.10.15ダイ ヤ改正及び一部経路変更 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 今吉田系統 | 広島バスセンター～可部 小浜・大釘～今吉田公民 館 | 関係自治体との検討を続けてい る。 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 矢野フィーダー系 統 | 済生会広島病院前～矢 野ニュータウン広熊道路～絵 下山入口 | —(新規) | A | A | 実態に応じた運行時刻及び便数 の調整を図る。 | | |
| | 広島電鉄(株) さくら(東循環)系統 | 廿日市市役所前駅～廿 日市市役所前駅 | H25.12.2に路線全体の再編を実 施。 | A | A | 廿日市市において更なる運行形 態の再編を検討中である。 | | |
| | 広島電鉄(株) 津田系統 | 廿日市市役所前駅～津 田 | H25.3.16ダイヤ改正を実施。 | A | A | 今後、適切な事業計画となってい るか関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 阿戸系統 | 熊野営業所～阿戸学校 | 関係自治体との検討を続けてい る。 | A | A | 地域の要望に応えながら路線維 持に向け努める。 | | |
| 広島電鉄(株) 苗代系統 | 呉駅前～西谷～熊野営 業所 | H26.3月末まで現行路線を維 持。H26.4.1より一部ダイヤ改正 を実施。 | A | A | 平成26年9月30日をもって系統廃 止。 | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 | |
|--------------------|--------------------|-----------------------------------|--|-------------------|--------------------|---|-----------------------------|---|--|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 芸陽バス(株) 東雲系統 | 宮の前－広島バスセン ター | 東広島バイパスの瀬野延伸による混雑も追加され、課題解決には至っていない。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・東広島バイパスの瀬野延伸で交通量が増加し、定時性確保に課題がある。 ・利用者要望や実態に合わせた便数調整を引き続き実施する。 ・利用者に分かりやすいバスを目指す取組として路線番号表記を導入(H26.11～。LEDタイプ)した。 ・(阿戸、西条・広島)途中停留所の通過時刻の見直しを実施。 | 各系統は、計画とおり適切に運行されており、評価できる。 | また、路線の特定に即した改善策も把握されていることから今後も引き続き路線維持確保のため、関係自治体と協議を行いながら利用しやすいバスの運行を目指していただきたい。 | |
| | 芸陽バス(株) 阿戸系統 | 海上側－広島バスセン ター | 経路変更後、特に苦情等はない。 | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 西条・広島系統 | 西条駅前－広島バスセン ター | 東広島市側での利用は現在も低調傾向。 | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 西条・広島系統 | 八本松－広島バスセン ター | 沿線小学校・中学校への通学利用がある。 | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 西条・竹原系統 | 西条駅前－竹原駅 | 新設便は西条－東広島間は一定の利用者があるものの、竹原までの利用者は定着しているとは言い難い状況。 | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 竹原・三原系統 | 三原営業所－中通 | 利用者数はほぼ横ばいであり、ダイヤ改正が利用者離れに繋がっていないと判断。 | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 沼田東系統 | 三原営業所－沼田東団 地上・本郷駅・松江－三 原営業所 | | A | A | | | | |
| | 芸陽バス(株) 白市・空港系統 | ネオポリス北－白市駅・ 河内インター・広島空港 | H25.7.20より白市－空港間の社会実験で大幅増便し、一時的に利用者が分散したが、現在は増便分の利用者数増加があり、1便あたりの利用者は増便前とほぼ同じ。 | A | A | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・県、空港ビルディング、NEXCO西日本と連携したPR等を引き続き実施する。 ・航空便時刻改正ごとに時刻が大幅に変わり沿線利用者から不評だったため、H26以降のダイヤ改正は必要最小限とするよう留意している。 |
| | 芸陽バス(株) 白市・空港系統 | ネオポリス北－白市駅・ 元兼－広島空港 | | A | A | | | | |
| 芸陽バス(株) 豊栄・広島系統 | 豊栄－広島バスセンター | 福富地区はほぼ利用がない。高美が丘地区は横ばい。 | A | A | | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|--------------------|-----------------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 芸陽バス(株) 豊栄・西条系統 | 豊栄ー上戸野ー西条駅前 | 高校の統廃合は一旦落ち着いているが状況は流動的で、沿線にある別の小・中・高校への通学利用がある。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 各自治体における住民へのPR(地域に合わせた時刻表や分かり易い路線図の配布)を引き続き実施する。 福富地区での地域公共交通の廃止(H26.9)や、造賀地区での貸切スクールバス乗合化への地元の反発による再度貸切化など、住民理解に課題がある。 (高美が丘)団地内の通過時刻の見直しを検討。 | 各系統は、計画とおり適切に運行されており、評価できる。 また、路線の特定に即した改善策も把握されていることから今後も引き続き路線維持確保のため、関係自治体と協議を行いながら利用しやすいバスの運行を目指していただきたい。 | |
| | 芸陽バス(株) 豊栄・西条系統 | 豊栄ー高美が丘・西高屋ー西条駅前 | | A | A | | | |
| | 芸陽バス(株) 白市・空港系統 | 白市駅ー河内インターー広島空港 | 岩国空港の影響(広島空港利用者の減少)は想定していたほどではなかった。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 県、空港ビルディング、NEXCO西日本と連携したPR等を引き続き実施する。 航空便時刻改正ごとに時刻が大幅に変わり沿線利用者から不評だったため、H26以降のダイヤ改正は必要最小限とするよう留意している。 | | |
| | 芸陽バス(株) 安芸南系統 | 海田市駅ー矢野大浜・フジグラン安芸・矢野大浜ー海田市駅 | 全便、ノンステップバスで運行し、特に年配の方に好評。 | B | A | <ul style="list-style-type: none"> 慢性的な渋滞のため定時性確保に課題があるが、経路変更等は困難なため、東広島バイパス完成までは対策が難しい見込み。 | | |
| | 芸陽バス(株) 瀬野・広島系統 | 広島バスセンターー中野東七丁目 | 低床車の使用率が増加しており、利用者から好評である。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 東広島バイパスの瀬野延伸により、この系統では定時性が確保できている。 途中停留所の通過時刻の見直しや路線番号表記を導入した。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|--------------------------|-------------------------|--|-------------------------|--------------------|---|--|--|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | (株)中国バス 福山・市系統 | 福山～中国中央病院～ 市出張所 | 福山駅前総合案内システムとバス 接近システムを活用しPRに努 めた。 | A | A | 引き続き、福山駅前総合案内シス テムとバス接近システムを活用し PRに努める。 | 各系統は、計画とおり適切に運行され ており、評価できる。 バス接近システムの有効活用によりP Rに努めることは重要であり、引き続き 継続をしていただきたい。それとあわ せ、地域と一体となった路線維持に関 する議論を行うことも重要であることか ら、次年度以降はこの点にも留意しつ つより利用者利便に即した公共交通機 関を目指して欲しい。 | |
| | (株)中国バス 府中線系統 | 目崎車庫～福山駅前 | | A | A | | | |
| | (株)中国バス 尾道・甲山系統 | 尾道駅前～川上口・市出 張所～甲山営業所 | 利用者への情報発信はまだ不 十分。 | A | A | バス接近システムの情報エリアを 広げ、PRに努める。 | | |
| | (株)中国バス 甲山・三原系統 | 甲山営業所～室町～三 原駅前 | | A | A | | | |
| | (株)中国バス 甲山・三原系統 | 甲山営業所～林崎谷～ 三原駅前 | | A | A | | | |
| | (株)中国バス 福山・尾道系統 | 福山～市(出)バイパス～ 尾道駅前 | 福山駅前総合案内システムとバス 接近システムを活用しPRに努 めた。 | A | A | 福山駅前総合案内システムとバス 接近システムを活用しPRに努 める。 | | |
| | (株)中国バス 三原・広島空港系 統 | 三原駅前～三原棧橋～ 広島空港 | 広島空港アクセス情報システム を活用しPRに努めた。 | A | A | 他モードとの連絡に着目したダイ ヤ設定を行う。 | | |
| | (株)中国バス 三原・広島空港系 統 | 三原棧橋～三原駅前～ 広島空港 | | A | A | | | |
| | 鞆鉄道(株) 尾道系統 | 福山駅前～松永～尾道 駅前 | H26.4のダイヤ改正(減便)によ り効率のよい運行になった | A | A | ダイヤの見直し | | 各系統は、計画とおり適切に運行され ており評価出来る。 ダイヤの見直しなど、利用者確保に向 けた取り組みを実施しているが、次 年度以降に関しては、それ以外の地域 からの要望を聞くなど多方面からの利 用促進策も講じるよう努力いただきたい 。 |
| | 鞆鉄道(株) 洗谷常石系統 | 福山駅前～洗谷～常石 | | A | A | ダイヤの見直し | | |
| | 鞆鉄道(株) 瀬戸千年系統 | 福山駅前～瀬戸～千年 橋 | | A | A | ダイヤの見直し | | |
| | 鞆鉄道(株) 小立千年系統 | 福山駅前～小立団地～ 千年橋 | | A | A | ダイヤの見直し | | |
| | 鞆鉄道(株) 瀬戸常石系統 | 福山駅前～瀬戸～常石 | | ダイヤ改正見送りのため、今後 検討する。 | A | A | | |
| | 鞆鉄道(株) 阿伏兔系統 | 福山駅前～瀬戸～阿伏 兔 | H26.4のダイヤ改正(減便)によ り効率のよい運行になった。 | A | A | ダイヤの見直し | | |
| 鞆鉄道(株) 福山内海系統 | 福山駅前～瀬戸～内海 農協 | ダイヤ改正見送りのため、今後 検討する。 | A | A | ダイヤの見直し | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|----------------------|------------------------------------|---|-------------------|--------------------|---|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 備北交通(株) 三城線系統 | 庄原バスセンター～ジョイフル・ 上四十貫～三次中学校 前 | 関係自治体と協力し沿線地域へ 出かけ乗車PRの利用促進を 行った。 | A | A | 三次市内の一部路線においてコ ミュニティバス及び他路線と輻輳 するダイヤについて今後当該系 統の短縮を図る。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 今年度については各系統の利用実態 に即した利用促進策も講じられており いることから引き続き関係自治体と協 議をしながら利用しやすい路線となる よう期待する。 | |
| | 備北交通(株) 三城線系統 | 西城～高駅前・市街地循 環～庄原バスセンター | 利用率の最も高い総合病院の 玄関前へ路線を延長し、利便性 を図った。 | A | A | 当該路線の分かり易いマップを作 成し沿線住民へ配布するとともに 車両の低床化を推進し利用促進 に努める。 | | |
| | 本四バス開発(株) 瀬戸田～因島線 | 瀬戸田港～土生港前 | H25.4より平日2往復減便を実施 した。 | B | A | ・通学利用のあるバス停の改善 ・通勤通学時間帯以外のダイヤの 精査 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 今後の改善点において挙げられてい る事項に関し関係自治体と協議をし、 利用者利便に即した運行に努めてい ただきたい。 | |
| | 江田島バス(株) 4主系統 | 小用～大柿支所～大柿 高校前 | 一斉下校時に児童が路線バス に乗ると一般客が乗車できない 課題についてスクールバスで対 応し、問題点を解決した。 | A | A | 安全管理マニュアルを策定した。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 スクール便を主とした運行系統であ り、安全管理マニュアルの策定につい ては必要不可欠のものと考えているが、 それに加え、利用者増につながる取り組 みを関係自治体と協議し実施するよう 努めていただきたい。 | |
| | 江田島バス(株) 14主系統 | 小用-大君-深江 | | A | A | 安全管理マニュアルを策定した。 | | |
| | さんようバス(株) 1系統 | 太田—明石港・大串—太 田 | 主要港の旅客船運航時刻に合 わせた運行となるよう調整中。 | A | A | 船との接続をしスムーズに乗り継 ぎができるようにする | 各系統は計画通り運行されており評価 出来る。 他モードとの乗り継ぎについては、旅 客にとっての利便性を確保する上では 必要不可欠であり、関係者と協議の上 確実に実施されたい。 | |
| | 瀬戸内産交(株) 1系統 | 営農センター～中国労災 病院 | 時刻変更を行い、列車との接続 を図った(船については船会社 に要望中)。 | A | A | 住民に理解され利用しやすいよう に低床バスを導入する | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 他モードとの乗り継ぎについては、旅 客にとっての利便性を確保する上では 必要不可欠であり、関係者と協議の上 確実に実施されたい。 | |
| | 瀬戸内産交(株) 2系統 | 沖友天満宮～中国労災 病院 | | A | A | 船との接続をしスムーズに乗り継 ぎができるようにする | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|------------------------------|------------------------|---|----------------------------|--------------------|---|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 石見交通(株) 広益線系統 | 医光寺前～広島新幹線 口(スーパー便) | 西風新都IC～広島BC間の運行 経路を変更した。 運行所要時分の見直しを行い、 定時運行に努めた。 | A | A | ・バス教室等を実施し、PRに努め る。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 利用促進昨としてバス教室を開催して いる事業者および自治体は近年増加 傾向にあり、新規需要開拓のためにも 引き続き実施をしていただくよう努めて いただきたい。 | |
| | 石見交通(株) 広益線系統 | 医光寺前～広島新幹線 口(特急便) | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C1系統 | 西条～広～呉 | ホームページの改修で時刻表、 路線図等をわかりやすく表示す るよう改良し、乗り方教室開催 や、地域コミュニティバス等との 連携を図ることで生活交通の維 持を行った。 | A | A | 利用実態に即したダイヤ設定を検 討するほか、引き続き分かりやす い時刻表や路線図、バリアフリー の推進など、地域と連携した生活 交通の維持を行なっていく。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 今後も引き続き地域の要望を確実に 把握し、利用促進に努めていただきた い。 また、今後の改善点において触れられ ているバリアフリーの推進についても 積極的に取り組みを行っていただき、 障害者・お年寄りに対してもより利用し やすい環境を整備していくことについ ても期待したい。 | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C2系統 | 西条～交叉点～呉 | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C109系統 | 賀茂医療センター口～ 庚・交叉点～呉 | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C161系統 | 西条～郷田～広島国際 大学 | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C164系統 | 西条～庚～広島国際大 学 | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C175系統 | 広島～森城団地～大朝 | | A | A | | | |
| | (株)井笠バスカンパ ニー 井原福山系統 | 井原～御領～福山 | | 利用者の要望に応じ運行計画 の見直しを行った。 | A | | | A |
| | (株)ささき観光 おおのハート(東 西)系統 | サンランド車庫～前空駅 ～広電阿品駅 | —新規 | A | A | 廿日市市においてダイヤ改正を 実施している。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり、評価出来る。 廿日市市内には複数の系統が混在し ていることから、他系統との接続など をきちんと整理をし、より利用しやす いバス運行に向けて関係者で協議をし ていただくことを期待する。 | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------------------|-------------------------|--|---|-------------------|----------------------------------|---|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 広島電鉄(株) 津田系統 | 車両減価償却費 新規 ワンステップバス1台 | —新規 | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載 された補助対象系統を運行するために 必要な車両を取得するために計画的 にノンステップバス・ワンステップバス を各社とも導入しており、評価出来る。 各社の経営状況にも左右され、一度に 車両の更新を行うことは困難な状況で はあるが、今後政府の方針によりH32 年度末までにノンステップバスの導入 率を70%にするという数値目標もある ことから引き続き車両更新に努めてい ただくよう期待したい。 また、地理的条件及び道路状況により やむを得ずワンステップバスを導入せ ざるを得ない路線も少なからず存在し ているが、これらについても地元の道 路管理者等にも要望をするなど関係自 治体と協議をしながら極力ノンステッ プバスの導入が可能となるよう協議を していただくことも合わせて期待したい。 | |
| | 広島電鉄(株) 津田系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス1台 | 運行間隔を見直すダイヤ改正を 実施した。(H25.3.16) | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 湯来系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス2台 | 利便性向上のため五日市駅降 車場至上屋を設置した。 | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 三段峡系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス1台 | 多雪地帯のため、ワンステップ 車両とし、乗車時間が長いた め、ハイバック式座席を導入し た。 | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 琴谷・今吉田系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス5台 | 多雪地帯のため、ワンステップ 車両とし、乗車時間が長いた め、ハイバック式座席を導入し た。 | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | | |
| | 広島電鉄(株) 上栗栖・津田系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス2台 | 運行間隔を見直すダイヤ改正を 実施した。(H25.3.16) | A | A | 今後、適切な事業計画について 関係自治体と検討する。 | | |
| | 芸陽バス(株) 西条竹原系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップ 1台 | —新規 | A | A | 今回の導入で低床車両での運行 率が上がり、一部便を除きほぼ低 床車での運行が可能となった。 | | |
| | 芸陽バス(株) 白市・空港系統 | 車両減価償却費 新規 ワンステップ 1台 | —新規 | A | A | 今回の導入で低床車両での運行 率が上がり、一部便を除きほぼ低 床車での運行が可能となった。 | | |
| | 芸陽バス(株) 西条豊栄系統 | 車両減価償却費 既存 ノンステップ 1台 | 時刻表の表記については、現在 反映できておらず引き続き検討 する。 | A | A | 時刻表の表記について引き続き 検討する。 | | |
| | 芸陽バス(株) 安芸南系統 | 車両減価償却費 既存 ノンステップ 1台 | 全便ノンステップバスで運行して おり、利用者に好評である。(車 両点検時を除く) | A | A | 全便ノンステップバスでの運行を 継続する。 | | |
| | 芸陽バス(株) 白市・空港系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 1台 | 低床車で運行し、利用者から好 評である。 | A | A | 低床車で運行し、利用者から好評 である。 | | |
| | 芸陽バス(株) 西条豊栄系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 2台 | 時刻表の表記については、現在 反映できておらず引き続き検討 する。 | A | A | 時刻表の表記について引き続き 検討する。 | | |
| 芸陽バス(株) 西条・竹原、竹原・ 三原系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 3台 | 高齢者の利用が多い区間を運 行しており、利用者から好評で ある。 | A | A | 高齢者の利用が多い区間のた め、引き続き低床車で運行する。 | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------------|---|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 芸陽バス(株) 竹原・三原, 三原・ 本郷系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 2台 | 高齢者の利用が多い区間を運行しており, 利用者から好評である。 | A | A | 高齢者の利用が多い区間のため, 引き続き低床車で運行する。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載された補助対象系統を運行するために必要な車両を取得するために計画的にノンステップバス・ワンステップバスを各社とも導入をしており, 評価出来る。 各社の経営状況にも左右され, 一度に車両の更新を行うことは困難な状況ではあるが, 今後政府の方針によりH32年度末までにノンステップバスの導入率を70%にするという数値目標もあることから引き続き車両更新に努めていただくよう期待したい。 また, 地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線も少なからず存在しているが, これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力ノンステップバスの導入が可能となるよう協議をしていただくことも合わせて期待したい。 | |
| | 芸陽バス(株) 瀬野・広島, 東雲, 阿戸系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 4台 | 高齢者の利用が多い区間を運行しており, 利用者から好評である。 | A | A | H27年度の国庫内定路線変更に伴い, 仕業内容の一部再検討をする可能性がある。 | | |
| | 芸陽バス(株) 阿戸系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 1台 (H23) | 高齢者の利用が多い区間を運行しており, 利用者から好評である。 | A | A | H27年度の国庫内定路線変更に伴い, 仕業内容の一部再検討をする可能性がある。 | | |
| | 芸陽バス(株) 三原本郷系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップ 1台 (H23) | 高齢者の利用が多い区間を運行しており, 利用者から好評である。 | A | A | 高齢者の利用が多い区間のため, 引き続き低床車で運行する。 | | |
| | (株)中国バス 福山～中国中央病院 ～市出張所系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス1台 | —新規 | A | A | 今後も車両代替を進めていく。 | | |
| | (株)中国バス 三原～甲山系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス1台 | —新規 | A | A | 今後も車両代替を進めていく。 | | |
| | (株)中国バス 尾道～甲山系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス1台 | —新規 | A | A | 今後も車両代替を進めていく。 | | |
| | (株)中国バス 三原～甲山系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス1台 | —新規 | A | A | 今後も車両代替を進めていく。 | | |
| | 鞆鉄道(株) 尾道線・新川線系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス2台 | —新規 | A | A | 車両の平均車齢の引き下げを図る。 | | |
| | 備北交通(株) 三城線系統 | 車両減価償却費 新規 ノンステップバス1台 | —新規 | A | A | 引き続きローカル線において年間1両～3両の代替えを行い車両の低床化を図り特に高齢者へのサービス向上に努めたい。 | | |
| | 備北交通(株) 三城線系統 | 車両減価償却費 既存 ノンステップバス2台 | 幹線系統のみならず他路線においても低床車両を導入し計画的に実施できた。 | A | A | | | |
| 瀬戸内産交(株) 2系統 | 車両減価償却費 既存 ノンステップバス1台 | お年寄りが利用しやすいように低床車両による運行を継続した。 | A | A | お年寄りが利用しやすい様に今後も導入していく。 | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------|-------------------------|---|-------------------------------|-------------------|--------------------|---------------------------------|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 広島県生活交通 対策協議会 | 中国ジェイアールバス (株)C1系統 | 車両減価償却費 新規 ワンステップバス1台 既存 ワンステップバス5台 | 引き続き補助制度を活用した低 床車両の導入を図った。 | A | A | 引き続き補助制度を活用した低床 車両の導入の促進を図る。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載 された補助対象系統を運行する ために必要な車両を取得する ために計画的にノンステップバス・ ワンステップバスを各社とも 導入をしており、評価出来る。 各社の経営状況にも左右され、 一度に車両の更新を行うことは 困難な状況ではあるが、今後 政府の方針によりH32年度末 までにノンステップバスの導入 率を70%にするという数値目 標もあることから引き続き車 両更新に努めていただくよう 期待したい。 また、地理的条件及び道路状 況によりやむを得ずワンステ ップバスを導入せざるを得ない 路線も少なからず存在している が、これらについても地元 の道路管理者等にも要望を するなど関係自治体と協議を しながら極力ノンステップ バスの導入が可能となるよう 協議をしていただくことも 合わせて期待したい。 | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C2系統 | | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C109系統 | | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C161系統 | | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C164系統 | A | | A | | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C161系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス4台 | | A | A | | | |
| | 中国ジェイアールバス (株)C175系統 | 車両減価償却費 既存 ワンステップバス4台 | | A | A | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------|----------------------|--------------------|--|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 鳥取県 | 日ノ丸自動車(株) 中河原系統 | 鳥取駅～上地 | 事業者、県及び市町村が行って いる利用促進等の取り組みを継 続した。 | A | A | 改善点なし。 事業者、県及び市町村が行って いる利用促進等の取り組みを継 続していく。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 特に、「みんなが乗りたくなるバスの魅 力づくり」について検討を行うなど利用 促進策に向けた協議を積極的に行っ ており、バスとレンタサイクルをセットに した過疎バス対策事業については南 部町内の観光周遊を目的とした非常 に良い取り組みであり、評価できる。 今後も他地域においてもこのような観 光を目的とした利用促進策を講じるな ど引き続きバス利用者数の拡大に努 めていただきたい。 | |
| | 日ノ丸自動車(株) 中河原系統 | 鳥取駅～雨滝 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 智頭系統 | 鳥取駅～智頭駅 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 用瀬系統 | 鳥取駅～用瀬 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 用瀬系統 | 鳥取駅～用瀬 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 鹿野系統 | 鳥取駅～鹿野 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 上井・三朝系統 | 倉吉駅～三徳山駐車場 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 上井・三朝系統 | 倉吉駅～三朝車庫 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 赤碕系統 | 倉吉駅～赤碕駅 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 松江系統 | 米子駅～松江 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 境系統 | 米子駅～境港駅 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 境系統 | 米子駅～米子空港ターミ ナル前 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 根雨系統 | 米子駅～日野病院前 | | A | A | | | |
| | 日ノ丸自動車(株) 根雨系統 | 米子駅～谷川 | | A | A | | | |
| 日ノ丸自動車(株) 東長田系統 | 祇園町日ノ丸前～金山 | A | A | | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|-----------------|---------------------|----------------------------------|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 鳥取県 | 日本交通(株) 岩井系統 | 鳥取駅～蕪島 | 事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。 | A | A | 改善点なし。 事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続していく。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価出来る。 今後も現在期間延長で取り組んでいる商店街と連携したバスマイレージ事業や、免許返納者を対象としたバス利用促進策などを確実に取り組むことで利用者増につながるよう努力していただきたい。 | |
| | 日本交通(株) 岩井系統 | 鳥取駅～長谷橋 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 若桜系統 | 鳥取駅～若桜車庫 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 若桜系統 | 鳥取駅～市立病院経由 ～若桜車庫 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 関金系統 | 倉吉BC～関金BC | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 関金系統 | 倉吉BC～明高 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 関金系統 | 倉吉BC～大河原 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 橋津系統 | 西倉吉町～石脇車庫 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 橋津系統 | 西倉吉町～小浜 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 松崎系統 | 西倉吉町から北浜入口 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 北条系統 | 西倉吉町から由良駅入口 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 大山系統 | 米子駅～大山寺 | | A | A | | | |
| | 日本交通(株) 淀江系統 | 米子駅～今津 | | A | A | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|---|------------------------------|-------------------------------|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 鳥取県 | 日ノ丸自動車(株) | 車両減価償却費 ノンステップバスを5台購 入 | 引き続き計画的にバリアフリー 対応の車両へ更新した。 | A | A | 改善点なし。 目標は長期的なものとして適切で あると判断。 一度に全ての車両を更新すること はできないため、引き続き計画的 にバリアフリー対応の車両へ更新 をしていく。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載 された補助対象系統を運行するた めに必要な車両を取得するために計 画的にノンステップバス・ワンステ ップバスを各社とも導入をしており 、評価出来る。 各社の経営状況にも左右され、一 度に車両の更新を行うことは困難な 状況ではあるが、今後政府の方針 によりH32年度末までにノンステ ップバスの導入率を70%にする という数値目標もあることから引 き続き車両更新に努めてい ただくよう期待したい。 | |
| | 日本交通(株) 岩井、若桜、関金、 橋津、松崎、北条、 大山系統 | 車両減価償却費 ノンステップバスを5台購 入 | | A | A | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------|---------------------|---------------------|---|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 島根県生活交通 確保対策協議会 | 一畑バス(株) 大東系統 | 松江しんじ湖温泉～大東 連絡所 | ・松江市内の学生利用の促進に 努めた結果、通学定期収入の 増加に努めた。 ・フリー乗車券を利用した観光客 の増加に努めた。 | A | A | ・引き続き松江市内の学生利用の 促進(市の通学支援補助制度)を 図る。又、使用済みバスカードを 利用した利用促進(とってお得 バス利用事業)に努める。 ・定期的に時刻表等バスの情報を 提供するとともに、バスの乗り方 教室を開催するなど地元自治体と の連携を図っていく。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 特に観光客にとってバスは観光地へ の2次アクセスとして重要な役割を果 たすものであり、同地区には松江しん じ湖温泉、玉造温泉と言った観光地が 点在しており、新たな需要喚起策とし て観光客向けに導入したフリー乗車券 の導入については評価が出来る。 今後も引き続き関係自治体と協議を行 い積極的に同様の利用促進策を講じ ることを期待する。 | |
| | 一畑バス(株) 万原系統 | 一畑バス本社～美保関 ターミナル | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 恵雲系統 | 一畑バス本社～恵雲連 絡所 | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) マリンゲート系統 | 一畑バス本社～マリン ゲート | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 御津系統 | 一畑バス本社～御津 | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 玉造系統 | 松江しんじ湖温泉～玉造 温泉 | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 玉造系統 | 一畑バス本社～玉造温 泉 | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 須佐系統 | 出雲市駅～須佐連絡所 | ・観光客の取り込みとして、多客 時における出雲市駅での切符 発売・乗客案内及び続行便の運 行を行い、増客への対応に努め た。 | A | A | ・引き続き観光シーズンにおける 多客時対応を行い、観光客の利 便を図り利用促進に努める。 | | |
| | 一畑バス(株) 日御碕系統 | 上塩治車庫～日御碕 | | A | A | | | |
| | 一畑バス(株) 大社系統 | 上塩治車庫～大社連絡 所 | | A | A | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------|-------------------|---------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 島根県生活交通 確保対策協議会 | 石見交通(株) 小浜江崎系統 | 医光寺前～江崎港(須佐 駅前) | <p>・バス停新設及び乗り入れを行い、需要の掘り起こしに努めた。 (大田西中、道の駅サンピコ、福田医院前)</p> <p>・広益線について運行時分の見直しを行い、定時制・安全性の確保に努めた。</p> <p>・広益線について経路変更を実施した。</p> | A | A | <p>・引き続き、お客様ニーズを把握し、バス停の新設、運行ルート等の変更を行う。</p> <p>・バス教室等を実施しPRIに努める。</p> | <p>各系統は計画通り適切に運行されており評価出来る。</p> <p>今後も引き続き路線維持確保のため、系統の再編や運行回数・ダイヤ設定などの見直しを講じるとともに、津和野温泉および匹見峡といった観光地を有する地域でもあることから、地域と一体となった観光客向けの利用促進策を講じることを検討されることを期待する。</p> | |
| | 石見交通(株) 津和野系統 | 医光寺前～津和野温泉 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 匹見系統 | 医光寺前～匹見峡温泉 (匹見上) | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 都茂系統 | 益田駅前～二川 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 浜田益田系統 | 石見交通本社～浜田駅前 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 弥栄系統 | 浜田駅前～弥栄支所 | | A | B | | | |
| | 石見交通(株) 有福系統 | 周布～江津駅前 | | A | B | | | |
| | 石見交通(株) 周布江津系統 | 周布～江津駅前 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 瑞穂系統 | 浜田駅前～瑞穂インター (入口) | | A | B | | | |
| | 石見交通(株) 大田江津系統 | 大田市立病院前～済生 会病院 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 広益系統 | 医光寺前～広島駅新幹 線口 | | A | A | | | |
| | 石見交通(株) 広益系統 | 医光寺前～広島駅新幹 線口 | | A | A | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------|---|------------------------|---|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 鳥根県生活交通 確保対策協議会 | 日ノ丸自動車(株) 松江系統 | 米子駅～松江営業所 | ・バスカードの利用促進(沿線の商店街と提携し使用済みバスカードを持参すると割引などの特典が受けられる)を行い、買い物客を取り込むことで、利用者数の維持に努めた。 | A | B | ・学生需要の取り込みを積極的に行い将来的な利用増を含めた利用促進を図る。また、バスカードの利用促進を図り利用者の維持に努める。 | ※鳥取県の記載と同様 | |
| | 防長交通(株) 津和野・萩系統 | 津和野バスセンター～東萩駅前 | ・子供にバスに乗ってもらうためのきっかけ作りとして、冬休み(平成25年12月21日～平成26年1月7日)、春休み(平成26年3月21日～4月7日)、夏休み(平成26年7月19日～8月31日)に小児運賃一律50円キャンペーンを実施した。 ・学生用フリー定期券については、平成26年2学期より新たに「学期定期」「3ヶ月・4ヶ月定期」を発売開始した。 | A | B | ・子供にバスに乗ってもらうためのきっかけ作りとして、小児運賃一律50円キャンペーンを継続的に実施し、将来的な需要増を含めた利用促進を図っていく。 ・経路変更やダイヤ改正のほか、様々な施策を地元自治体と協力して実施するとともに、利用者に分かりやすいダイヤ設定、時刻表の作成等、住民へのPRに努めバス利用促進を図っていく。 | ※山口県の記載と同様 | |
| | 一畑バス(株) 万原線 御津線 玉造線 大社線 | 車両減価償却費 ノンステップバス 2両 | 計画どおりノンステップバス2両の導入を実施した。 | A | A | 引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載された補助対象系統を運行するために必要な車両を取得するために計画的にノンステップバス・ワンステップバスを各社とも導入をしており、評価出来る。 なお、各社の経営状況にも左右され、一度に車両の更新を行うことは困難な状況ではあるが、今後政府の方針によりH32年度末までにノンステップバスの導入率を70%にするという数値目標もあることから引き続き車両更新に努めていただくよう期待したい。 | |
| | 石見交通(株) 浜田益田線 弥栄線 周布江津線 瑞穂線 | 車両減価償却費 ノンステップバス 3両 | 計画どおりノンステップバス3両の導入を実施した。 | A | A | 引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------------------|-------------------------|---|----------------------------------|-------------------|---|---|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 岡山県 | (株)井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統 | 笠岡～矢掛 | 新規 | A | B | 運行計画の見直しとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、収支率55%を目指す。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価出来る。 今後の改善点において課題が明確化されていることから、関係自治体等を協議を行い、目標の収支率を達成するよう期待する。 | |
| | (株)井笠バスカンパニー 井原～福山系統 | 井原～福山 | 新規 | A | A | ICカード対応車両で利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、収支率55%を目指す。 | | |
| | (株)井笠バスカンパニー 笠岡～井原系統 | 笠岡～井原 | 新規 | A | B | 他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、収支率77%を確保する。 | | |
| | 下津井電鉄(株) A-2岡山線系統 | 天満屋～JR児島駅 | 通勤通学時間帯の運行時刻を見直しダイヤ改正を実施した。 | A | B | イオンモール岡山開業に伴い付近渋滞による遅延回避のダイヤ改正の実施、関係他系統の運行回数の変更による走行キロの圧縮をし経費節に努める。エコドライブの積極的な実施で収支率65.00%、輸送量を17.5人を目標とする。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価出来る。 今後も引き続き路線維持確保のため、ダイヤ・運行回数の見直し、他モードとの乗り継ぎの向上を図るなど関係者と協議をし、より利用しやすいバスとして運行されることを期待する。 | |
| | 下津井電鉄(株) D-17茶屋町線系統 | イオンモール倉敷～興除車庫前 | 通勤通学時間帯の渋滞による遅延回避を目的にダイヤ改正を実施した。 | A | B | 沿線高等学校への通学定期啓蒙チラシをオープンスクールや新年度前に学校訪問し利用促進に向けた広報活動の実施とエコドライブの積極的な実施で収支率82.00%、広報活動に注力し輸送量を72.0人を目標とする。 | | |
| 下津井電鉄(株) S-5瀬戸大橋線系統 | JR児島駅～瀬戸大橋FW | 与島プラザへの通勤、櫃石島、岩黒島への通勤通学の足を確保するため運行時刻、回数とも変更せず、エコドライブの徹底で経費節減に努めた。 | A | B | 与島、岩黒島、櫃石島の島内住民の足を確保しつつエコドライブの積極的は実施で収支率57.00%、広報活動に注力し輸送量を22.0人を目標とする。 | なお、現在は落ち着いているが、軽油の上昇により収支率に影響を及ぼすことが今後も懸念されることから、引き続きエコドライブを実施することで燃料費の削減に努めるようご尽力いただきたい。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|---------------------------------|---------------------|---|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 岡山県 | 中鉄バス(株) 40佐山リハビリ系 系統 | 天満屋BC～リハビリセン ター前 | 通勤時間帯に運行する1便を、 通勤利用者の利用が見込める 施設を経由するルートに変更し た。 | A | A | 通学利用が多く見込める沿線高 校のニーズに即したダイヤの見直 しを実施する等し、一層の利用促 進を図る。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり評価出来る。 今後も引き続き路線維持確保のため、 系統の再編や地域内フィーダー系統 の接続等について関係者と十分協議 を行い、路線維持に努めていただくこ とを期待したい。 なお、スクール便も数多く運行してい ることから、新たな学生利用者確保に 向けた利用促進策を検討することにつ いて検討をするよう期待したい。 | |
| | 中鉄バス(株) 44大井系統 | 天満屋BC～大井 | 交通渋滞による遅延を考慮した 運行ダイヤの見直しを実施し た。 | A | B | 乗降調査等により利用者ニーズ の把握に努め、運行ダイヤの見 直しを検討する。 | | |
| | 中鉄北部バス(株) 53・54石越系統 | 津山～石越 | 鏡野町の広報誌による通学利 用の呼びかけ及びバス車内に 時刻表を備付ける等して利用促 進を図った。 | A | B | 引き続き関係市町と連携したPR 活動に努め、利用促進を図る。 | | |
| | 中鉄北部バス(株) 55・56奥津系統 | 津山～奥津温泉 | 鏡野町の広報誌による通学利 用の呼びかけ及びバス車内に 時刻表を備付ける等して利用促 進を図った。 | A | B | 引き続き関係市町と連携したPR 活動に努め、利用促進を図る。 | | |
| | 中鉄北部バス(株) 58・59・60・85系 系統 | 津山～行方 | 奈義町の広報誌等による通学 利用の呼びかけ及びバス車内 に時刻表を備付ける等して利用 促進を図った。 | A | B | 引き続き関係市町と連携したPR 活動に努め、利用促進を図る。 | | |
| | 中鉄北部バス(株) 74(ス)高下系統 | スポーツセンター～高下 | 乗降調査を実施し、関係市町と 運行計画の見直しを検討したが 実施には至っていない。 | A | B | 今後も乗降調査等により利用実 態の把握に努め、関係市町と運 行計画の見直しを検討する。 | | |
| | 中鉄北部バス(株) 145(高)勝山系統 | 岡山～勝山 | 真庭市が職員の出張時に於け る当該路線の利用促進を図っ た。 | A | B | 今後も関係市町との連携強化及 び岡山駅前に開業した大型商業 施設への利便性をPRする等し、 一層の利用促進を図る。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|-----------------|-----------------|---|-------------------|--------------------|--|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 岡山県 | 備北バス(株) 皆部系統 | 高梁駅～塩坪～皆部 | 目標としていた収支率には届かなかったものの高校生を中心とした利用者は堅調であった。 | A | B | 当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率57%台を目指していきたい。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価出来る。 特にイオンモール開業に伴い岡山市内の渋滞が懸念されており、公共交通の利用が注目を浴びている状況もあることから、事業の改善点に記載があることより、今後マイカーからバスへシフトしていただけるような方策を検討し多くの新規利用者を確保していくことを期待したい。 | |
| | 備北バス(株) 吉川系統 | 高梁駅～リハビリセンター～吉川 | 昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。 | A | B | 当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率58%台を目指していきたい。 | | |
| | 備北バス(株) 岡山系統 | 地頭～古町～岡山 | 目標としていた収支率には届かなかったものの通院、買い物客を中心とした利用者は堅調であった。 | A | B | 当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を主とした路線であり、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率50%台をめざしていきたい。また平成26年12月にオープンしたイオンへの買い物利用客を取り込むことで新規利用者を増やしていきたい。 | | |
| | 備北バス(株) 坂本系統 | 坂本～メディカル～新見駅 | 運行時刻の見直し及び一部運行ルートの変更を行った。 | A | B | 当該路線の利用者の多くは、通勤と病院への通院及び買い物が主であり、高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、新見市と連携し利用促進に取り組み収支率52%台を目指していきたい。 | | |
| | 備北バス(株) 地頭系統 | 地頭～古町～高梁駅 | 昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。 | A | B | 当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率55%台を目指していきたい。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|----------------------------------|--------------------|---|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 岡山県 | (株)美作共同バス 大原駅～湯郷温泉 ～勝間田駅系統 | 大原駅～湯郷温泉～勝 間田駅 | 本年度は、運賃改正を行い収益 改善を図った。 | A | A | 美作市交通体系合理化に協力し て収益の改善を図る。併せて老朽 化した車両を入れ替えて修繕費 の減少を図る。 | 各系統は計画通り適切に運行されて おり、評価出来る。 当該系統は湯原温泉も経由するなど 駅から観光地への2次アクセスとしても 活用ができるよう地元関係者と協議を し、新規利用者増加に向けた取り組み を検討することを期待したい。 | |
| | 両備ホールディン グス(株) 74牛窓 北線系統 | 西大寺～邑久駅～牛窓 | 瀬戸内市との連携で牛窓地区 でデマンドタクシー(地域内 フィーダー系統)と結節し、地域 住民の移動確保を図った。 | A | A | 瀬戸内市・岡山市と今後も連携を とり沿線地域住民への周知及び 利用促進を図る。 | 各系統は計画とおり適切に運行されて おり評価出来る。 補助系統運行地域においては地域内 フィーダー系統も複数存在することか ら、関係自治体と協議をし、引き続きメ リハリのある交通体系を維持してい たくよう期待したい。 | |
| | 両備ホールディン グス(株) 76牛窓 南線系統 | 西大寺～西大寺駅・神崎 ～牛窓 | 瀬戸内市との連携で牛窓地区 でデマンドタクシー(地域内 フィーダー系統)と結節し、地域 住民の移動確保を図った。 | A | A | 瀬戸内市・岡山市と今後も連携を とり沿線地域住民への周知及び 利用促進を図る。 | | |
| | 両備ホールディン グス(株) 212銚 立線系統 | 岡山駅前～銚立 | 玉野市内での乗合バスとの連 携、玉野市東児地区での利用 促進により路線維持を図った。 | A | A | 玉野市・岡山市と今後も連携を とり沿線地域住民への周知及び利 用促進を図る。 | | |
| | 両備ホールディン グス(株) 218上 山坂線系統 | 岡山駅前～宇野駅前 | 玉野市内での乗合バスとの連 携、玉野市東児地区での利用 促進により路線維持を図った。 | A | B | 玉野市・岡山市と今後も連携を とり沿線地域住民への周知、沿線 地域への通院・通学の利用促進 を図る。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------|---|---|-----------------------------|-------------------|--------------------|---------------------------|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 岡山県 | 両備ホールディングス(株) 74牛窓北線系統 西大寺～邑久駅～牛窓 | 車両減価償却費 ワンステップバス2両導入 平成25年度1両 平成26年度1両 | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | A | 今後もエコドライブの徹底により経費の節減に努める。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載された補助対象系統を運行するために必要な車両を取得するために計画的にノンステップバス・ワンステップバスを各社とも導入をしており、評価出来る。 各社の経営状況にも左右され、一度に車両の更新を行うことは困難な状況ではあるが、今後政府の方針によりH32年度末までにノンステップバスの導入率を70%にするという数値目標もあることから引き続き車両更新に努めていただくよう期待したい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力ノンステップバスの導入が可能となるよう協議をしていただくことも合わせて期待したい。 | |
| | 両備ホールディングス(株) 76牛窓南系統 西大寺～西大寺駅・神崎～牛窓 | | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | A | 今後もエコドライブの徹底により経費の節減に努める。 | | |
| | 両備ホールディングス(株) 212銚立線系統 岡山駅前～銚立 | 車両減価償却費 ワンステップバス2両導入 平成25年度1両 平成26年度2両 | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | A | 今後もエコドライブの徹底により経費の節減に努める。 | | |
| | 両備ホールディングス(株) 218上山坂線系統 岡山駅前～宇野駅 | | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | A | 今後もエコドライブの徹底により経費の節減に努める。 | | |
| | (株)井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統 井原～福山系統 笠岡～井原系統 | 車両減価償却費 ノンステップバス4両導入 | 新規 | A | A | 今後も計画通り車両代替を進めていく。 | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|--|----------------------------|---|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善協 議会 | 防長交通(株) 徳山駅前～快)新 岩国駅～岩国駅前 系統 | 徳山駅前～快)新岩国駅 ～岩国駅前 | 子供にバスにのってもらうた めのきっかけ作りとして、冬休 み(平成25年12月21日～平成 26年1月7日)、春休み(平成 26年3月21日～4月7日)、 夏休み(平成26年7月19日～ 8月31日)に小児運賃一律50 円キャンペーンを実施した。 学生用フリー定期券については、 平成26年2学期より新たに「 学期定期」「3ヶ月・4ヶ月定 期」を発売開始した。 新山口駅バスターミナル整備事 業に伴い、新山口駅の乗車地を 変更した。 萩センター～奈古駅前系統にお いて、道の駅阿武町敷地内の運 行経路を変更し、あわせて停留 所を移設した。 | A | B | 各地域のイベント開催時にお いて路線バスでの写真撮影会や バスの乗り方教室を開催するほ か、小児運賃一律50円キャンペ ーンを継続的に実施し、将来的 な需要増を含めた利用促進を図 っていく。 経路変更やダイヤ改正のほか、 様々な施策を地元自治体と協力 して実施するとともに、利用者 に分かりやすいダイヤ設定、時 刻表の作成等、住民へのPRに努 めバス利用促進を図っていく。 | 各系統は計画とおり運行され ており評価できる。 山口県では利用促進策として先 駆的にバスの乗り方教室を学校 等と連携しながら積極的に実施 しており、将来のバス利用者増 かにつながることを期待する。 なお、一部系統により協働推進 事業の特例措置を受けた路線が あり、大半が目標輸送量を達成 出来ていない状況も見受けられ るため、特例措置終了後国庫補 助の要件を満たさなくなった際 の路線維持に対する対応策につ いても関係市町と協議をし路線 維持に努めていただくことを期 待したい。 | |
| | 防長交通(株) 徳山駅前～快)～ 柳井駅前系統 | 徳山駅前～快)～柳井駅前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 徳山駅前～防府駅前 系統 | 徳山駅前～防府駅前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 柳井駅前～上関系 統 | 柳井駅前～上関 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 柳井駅前～イオン・ 平生～上関系統 | 柳井駅前～イオン・平生 ～上関 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 徳山駅前～バイパ ス・自由ヶ丘団地入 口～兼清系統 | 徳山駅前～バイパス・自 由ヶ丘団地入り口～兼清 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 大島駅～周防久賀～周 防油宇系統 | 大島駅～周防久賀～周 防油宇 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 大島駅～周防久賀 ～町立橋病院前系 統 | 大島駅～周防久賀～町 立橋病院前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 大島駅～大島庁舎 前・沖浦～町立橋 病院前系統 | 大島駅～大島庁舎前・沖 浦～町立橋病院前 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|--|---------------------------------|---|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | 防長交通(株) 徳山駅前～バイパス・ 夢ヶ丘団地～ゆめ プラザ熊毛系統 | 徳山駅前～バイパス・ 夢ヶ丘団地～ゆめ プラザ熊毛 | 子供にバスにのってもらいた ためのきっかけ作りとして、冬休 み(平成25年12月21日～平成26 年1月7日)、春休み(平成26年3 月21日～4月7日)、夏休み(平 成26年7月19日～8月31日)に 小児運賃一律50円キャンペーンを 実施した。 | A | B | 各地域のイベント開催時におい て路線バスでの写真撮影会やバス の乗り方教室を開催するほか、小 児運賃一律50円キャンペーンを 継続的に実施し、将来的な需要 増を含めた利用促進を図ってい く。 経路変更やダイヤ改正のほか、 様々な施策を地元自治体と協力 して実施するとともに、利用者 に分かりやすいダイヤ設定、時刻 表の作成等、住民へのPRに努め バス利用促進を図っていく。 | 各系統は計画とおり運行されて おり評価できる。 山口県では利用促進策として先 駆的にバスの乗り方教室を学校 等と連携しながら積極的に実施 しており、将来のバス利用者増 かにつながることを期待する。 なお、一部系統により協働推進 事業の特例措置を受けた路線が あり、大半が目標輸送量を達成 出来ていない状況も見られるた め、特例措置終了後国庫補助の 要件を満たさなくなった際の 路線維持に対する対応策につ いても関係市町と協議をし路線 維持に努めていただくことを期 待したい。 | |
| | 防長交通(株) 徳山駅前～新南陽 駅～コアプラザか の系統 | 徳山駅前～新南陽駅～コ アプラザかの | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 徳山駅前～湯野～ 柚木河内系統 | 徳山駅前～湯野～柚木 河内 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 防府駅前～新山口 駅～小郡第一病院 前系統 | 防府駅前～新山口駅～ 寿通第一病院前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 堀～中山～防府駅 前系統 | 堀～中山～防府駅前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 堀～和字～防府駅 前系統 | 堀～和字～防府駅前 | | A | | | | |
| | 防長交通(株) 防府駅前～西高・ 秋穂総合支所～秋 穂漁港入口系統 | 防府駅前～西高・秋穂 総合支所～秋穂漁港入口 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|---|--------------------------------|--|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | 防長交通(株) 県庁前～西京橋・ 新山口駅・長浜～ 秋穂荘系統 | 県庁前～西京橋・新山口 駅・長浜～秋穂荘 | | A | B | 各地域のイベント開催時において 路線バスでの写真撮影会やバス の乗り方教室を開催するほか、小 児運賃一律50円キャンペーンを 継続的に実施し、将来的な需要 増を含めた利用促進を図ってい く。 経路変更やダイヤ改正のほか、 様々な施策を地元自治体と協力 して実施するとともに、利用者 に分かりやすいダイヤ設定、時刻表 の作成等、住民へのPRに努めバ ス利用促進を図っていく。 | 各系統は計画とおり運行されており評 価できる。 山口県では利用促進策として先駆的 にバスの乗り方教室を学校等と連携し ながら積極的に実施しており、将来の バス利用者増かにつながることを期待 する。 なお、一部系統により協働推進事業の 特例措置を受けた路線があり、大半が 目標輸送量を達成出来ていない状況 も見受けられるため、特例措置終了後 国庫補助の要件を満たさなくなった際 の路線維持に対する対応策について も関係市町と協議をし路線維持に努め ていただくことを期待したい。 | |
| | 防長交通(株) 新山口駅新幹線口 ～新山口駅・大田 ～東萩駅前系統 | 新山口駅新幹線口～新 山口駅・大田～東萩駅前 | 子供にバスにのってもらうため のきっかけ作りとして、冬休み (平成25年12月21日～平成26年 1月7日)、春休み(平成26年3月 21日～4月7日)、夏休み(平成 26年7月19日～8月31日)に小児 運賃一律50円キャンペーンを実 施した。 | A | | | | |
| | 防長交通(株) 新山口駅新幹線口 ～十文字～秋芳洞 系統 | 新山口駅新幹線口～十 文字～秋芳洞 | 学生用フリー定期券について は、平成26年2学期より新たに 「学期定期」「3ヶ月・4ヶ月定期」 を発売開始した。 | A | | | | |
| | 防長交通(株) 青海大橋～快)～ 東萩駅前系統 | 青海大橋～快)～東萩駅 前 | 新山口駅バスターミナル整備事 業に伴い、新山口駅の乗車地を 変更した。 | A | | | | |
| | 防長交通(株) 萩センター～奈古 駅前系統 | 萩センター～奈古駅前 | 萩センター～奈古駅前系統にお いて、道の駅阿武町敷地内の運 行経路を変更し、あわせて停留 所を移設した。 | A | | | | |
| | 防長交通(株) 津和野バスセン ター～快)三谷・吉 部～東萩駅前系統 | 津和野バスセンター～ 快)三谷・吉部～東萩駅 前 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|-------------------|---|--|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | サンデン交通(株) 北浦線 | 下関駅～唐戸～川棚温泉 下関駅～豊洋台3丁目～ 川棚温泉 | 学生フリー定期の発売を開始し、又ポケット時刻表を作成、配布することにより、利用者の利便性の向上を図った。 | A | A | 今後も引き続きバス利用促進につながるように努め、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要等、新規利用者の拡大に力を入れていく。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価できる。 今後も引き続きバス利用促進に努め、関係市町と連携しより利用しやすいバス路線を目指すよう努力をしていただきたい。 | |
| | サンデン交通(株) 国道線 | 下関駅～小月局前～フジ グラン宇部 彦島営業所～小月駅～ 宇部中央 下関駅～小月駅～宇部 中央 下関駅～小月駅～小野 田駅 小月駅～小野田駅～宇 部中央 | | A | | | | |
| | サンデン交通(株) 仙崎線 | 下関駅～小月駅～大泊 | | A | | | | |
| | サンデン交通(株) 西市線 | 下関駅～下大野～豊田 町西市 小月駅～下大野～豊田 町西市 | | A | | | | |
| | サンデン交通(株) 秋芳洞線 | 下関駅～小月駅～秋芳 洞 下関駅～ゆめ・小月駅～ 秋芳洞 | | A | | | | |
| | サンデン交通(株) 山口線 | 下関駅～小月局前～山 口駅 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|-----------------------|---------------------------------|---|-------------------|--------------------|---|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | 船木鉄道(株) 小野田線(本山) | 船木～本山岬 船木～サンパーク～本 山岬 | ダイヤ改正を行い利便性を改善させた。一部ピッチダイヤを採用。また、バス乗り方教室を開催し、利用促進に努め、宇部市内・山陽小野田市内共通時刻表を宇部市交通局、サンデン交通と協力し作成・配布した。EMSの活用により、燃費の向上目標を再徹底を行い燃費向上に努めるとともに事故削減を図った。 | A | A | 小幅ながらダイヤ改正をし効率・接続を見直しを行った。他社競合や自社競合について検討。 | 各系統は計画通り適切に運行されており評価できる。 今後も引き続きバス利用促進に努め、関係市町と連携しより利用しやすいバス路線を目指すよう努力をしていただきたい。 | |
| | 船木鉄道(株) 宇部線 | 船木～宇部市役所 | | A | | 平日11:00～16:00台でピッチダイヤを採用したが他系統への接続や他社との競合する時間帯を再検討。 | | |
| | 船木鉄道(株) 厚狭線 | 厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～ 宇部中央 | | A | | 他社や自社の競合時間帯について検討。 | | |
| | 石見交通(株) 小浜江崎線 | 医光寺前～日赤・田万川 温泉～江崎港(須佐駅 前) | 啓蒙活動を行い、潜在的な利用者の掘り起こしに努めたい。 運行ルート・運行所要時分の見直しを行い、効率的な運行、利便性の向上を図っていく。 | A | A | バス教室等を実施し住民PRIに努める。 | ※島根県の記載と同様 | |
| | 石見交通(株) 広益線(スーパー便) | 医光寺前～(スーパー)～広 島新幹線口 | | A | | | | |
| | 石見交通(株) 広益線(特急便) | 医光寺前～(特急)～広 島新幹線口 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|--------------------|--|---|-------------------|--------------------|---|--|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | 宇部市交通局 新山口線(特急) | 宇部新川駅～山口宇部 道路～新山口駅 | 路線維持のため、バス停車表の 停留所掲示や時刻冊子の配布 など、PRIに取り組んだ。 また、バスオリエンテーリングや 乗り方教室を実施し、生活交通 の維持に取り組んだ。 | A | A | 引き続き、バス利用促進につな がるよう、時刻表の改善や各種チ ラシを配布することで情報提供を行 う。また、経費面では職員の退職 者を嘱託職員で補充するなど経 費削減を行う。 | 各系統は計画とおり運行されており評 価できる。 山口県では利用促進策として先駆的 にバスの乗り方教室を学校等と連携し ながら積極的に実施しており、将来の バス利用者増かにつながることを期待 する。 また、バスを活用したオリエンテーリ ングなど単なる移動手段ではなく、新規 需要を目的とした取り組みも実施され ていることから、引き続き関係者と様々 なアイデアを出し合いながら新たな 取り組みを実施されることを期待する。 | |
| | 宇部市交通局 新山口線(普通) | 宇部新川駅～サンパーク 阿知須・東岐波商業団地 前～新山口駅新幹線口 | | A | | | | |
| | 宇部市交通局 阿知須線 | 宇部新川駅～今村～サ ンパークあじす | | A | | | | |
| | 宇部市交通局 阿知須線 | 宇部新川駅～今村・ミス ターマックス宇部店～サ ンパークあじす | | A | | | | |
| | 宇部市交通局 小野田線 | 小野田営業所～大学病 院前～常盤町二丁目 | | A | | | | |
| | 宇部市交通局 小野田線 | 小野田営業所～記念会 館前～常盤町二丁目 | | A | | | | |
| | 宇部市交通局 西ヶ丘日赤線 | 西ヶ丘～ゆめタウン宇部 ～日赤前 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|--|-------------------|--------------------|--|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | 中国ジェイアール バス(株) D-64 系統 | 新山口駅新幹線口～県 庁～東萩 | D69系統については、国庫補助 要件である輸送量を維持するた め、萩市職員の出張での利用 や、通勤通学者の利用が見ら れ、結果として輸送量が25年度 9.8人から26年度12.0人に改善し た。 補助を受けて運行していること を記載した時刻表を山口市報に 折り込みで配布を行い、地域住 民への周知を図った。 平成26年3月15日ダイヤ改正 で、列車のダイヤに合わせた改 正を実施し、利用実態に即した 所要時分を設定した。 やまぐちバス博などのイベントに 参加し、各自治体の依頼により バスの乗り方教室を実施するな ど、地域と協力した取り組みを 行い、生活交通路線の維持を 図った。 | A | B | 列車のダイヤ改正に合わせたバ スのダイヤ改正を実施し、乗り継 ぎ利便の向上を図る。また、山口 市報へ補助路線が含まれている という一文を記載した時刻表を折 り込むなど、地域住民への路線周 知を図っていく。 今後も利用しやすい環境の整備 (わかりやすい時刻表・路線図の 掲出・バリアフリーに対する取り組 み)、各自治体イベントへの参加 等、地域と協力し生活交通路線の 維持を続けていく。 | 各系統は計画とおり運行されており評 価できる。 山口県では利用促進策として先駆的 にバスの乗り方教室を学校等と連携し ながら積極的に実施しており、将来の バス利用者増かにつながることを期待 する。 なお、一部系統により協働推進事業の 特例措置を受けた路線があり、大半が 目標輸送量を達成出来ていない状況 も見受けられるため、特例措置終了後 国庫補助の要件を満たさなくなった際 の路線維持に対する対応策について も関係市町と協議をし路線維持に努め ていただくことを期待したい。 | |
| | 中国ジェイアール バス(株) D-69系 系統 | 山口～県庁・野田町～東 萩 | | A | | | | |
| | 中国ジェイアール バス(株) D-77 系統 | 防府～ゆめタウン山口・ 県庁～中尾口 | | A | | | | |
| | 中国ジェイアール バス(株) D-79 系統 | 秋吉～洞・バイパス・大田 中央・県庁～山口 | | A | | | | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|--|---|---|-------------------|--------------------|------------------------|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善協 議会 | 防長交通(株) 徳山駅前～快)新 岩国駅～岩国駅前 系統 徳山駅前～快)～ 柳井駅前 系統 徳山駅前～バイパ ス・自由ヶ丘団地入 口～兼清 系統 大島駅～周防久賀 ～町立橋病院前 系統 大島駅～大島庁舎 前・沖浦～町立橋 病院前 系統 徳山駅前～バイパ ス・夢ヶ丘団地～ゆ めプラザ熊毛 系 統 堀～中山/和字～ 防府駅前 系統 防府駅前～西高・ 秋穂総合支所～秋 穂漁港入口 系統 県庁前～西京橋・ 新山口駅・長浜～ 秋穂荘 系統 新山口駅新幹線口 ～新山口駅・大田 ～東萩駅前 系統 青海大橋～快)～ 東萩駅前 系統 萩センター～奈古 駅前 系統 | 車両減価償却費 ノンステップバス 18両導 入 平成23年度導入分＝4両 平成24年度導入分＝4両 平成25年度導入分＝4両 平成26年度導入分＝6両 | 平成27年9月末までに50%以上 という目標に対し、順調に推移し ている。 | A | A | 今後も計画通り車両代替を進め ていく。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載 された補助対象系統を運行するため に必要な車両を取得するために計画的 にノンステップバス・ワンステップバス を各社とも導入をしており、評価出来 る。 各社の経営状況にも左右され、一度に 車両の更新を行うことは困難な状況で はあるが、今後政府の方針によりH32 年度末までにノンステップバスの導入 率を70%にするという数値目標もある ことから引き続き車両更新に努めてい ただくよう期待したい。 また、地理的条件及び道路状況により やむを得ずワンステップバスを導入せ ざるを得ない路線も少なからず存在し ているが、これらについても地元の道 路管理者等にも要望をするなど関係自 治体と協議をしながら極力ノンステッ プバスの導入が可能となるよう協議を していただくことも合わせて期待したい。 | |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------------------|--|--|-----------------------------|-------------------|--------------------|---|---|----|
| | | | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 山口県生活交通 確保維持改善 協議会 | サンデン交通(株) 国道線 西市線 秋芳洞線 北浦線 | 車両減価償却費 ノンステップバス 8両導 入 平成23年度導入分=2両 平成24年度導入分=2両 平成25年度導入分=2両 平成26年度導入分=2両 | 計画通り低床車両の導入が図 れるよう努めた。 | A | A | 引き続き計画的な導入を促進し、 目標達成に向けて取り組んでい く。 | 地域間幹線系統確保維持計画に記載 された補助対象系統を運行するため に必要な車両を取得するために計画的 にノンステップバス・ワンステップバス を各社とも導入をしており、評価出来 る。 各社の経営状況にも左右され、一度に 車両の更新を行うことは困難な状況で はあるが、今後政府の方針によりH32 年度末までにノンステップバスの導入 率を70%にするという数値目標もある ことから引き続き車両更新に努めてい ただくよう期待したい。 また、地理的条件及び道路状況により やむを得ずワンステップバスを導入せ ざるを得ない路線も少なからず存在し ているが、これらについても地元の道 路管理者等にも要望をするなど関係自 治体と協議をしながら極力ノンステッ プバスの導入が可能となるよう協議をし ていただくことも合わせて期待したい。 | |
| | 宇部市交通局 新山口線 阿知須線 小野田線 西ヶ丘日赤線 | 車両減価償却費 ノンステップバス 7両導 入 平成23年度導入分=3両 平成24年度導入分=2両 平成25年度導入分=1両 平成26年度導入分=1両 | 計画通り低床車両の導入が図 れるよう努めた。 | A | A | 今後も引き続き、計画どおりノンス テップバスの導入を進めていく。 | | |
| | 中国ジェイアール バス(株) 山口～東萩 山口～秋吉 山口～美祢 | 車両減価償却費 ワンステップバス 2両導 入 平成25年度導入分=2両 | 計画通り低床車両の導入が図 れるよう努めた。 | A | A | 計画通り低床車両の導入が図れ るよう努めていく。 | | |